



応用 1
飲み物をこぼしても慌てずに対処

ある程度は水分をはくのがウールの利点。コーヒーやジュースをこぼした時は慌てず、固く絞った布巾を用意。



応用 2
決してこすらずやさしく押さえる

布巾で上から押さえ、汚れを吸い取る。こすると、かえって汚れが広がったり染み込んだりするので注意すること。



応用 3
汚れが残ったらお湯をかけてもう一度

汚れが薄れるまで、お湯をかけて布巾で押さえる、を繰り返す。多少の染みは、掃除機をかけるうちに薄れていく。



応用 4
仕上げはドライヤーで

自然乾燥でも構わないが、染みの範囲が広いときや、急いで乾かしたい時は、ヘアドライヤーの温風を当てるとよい。

堀田さんが実践する カーペットのお手入れ

「ウールのカーペットのお手入れは案外簡単なんですよ」。そう話す堀田さんが行っている日常的な掃除から緊急時の対処まで、その手順をご紹介します。



基本 1
日々の掃除は掃除機をかけるだけ

できれば毎日、無理なら2〜3日に1度、ブラシが高速回転するタイプの掃除機をかけ、遊び毛を取り除く。



基本 2
半年に一度は蒸気でお手入れ

消毒を兼ねて高温のスチームクリーナーで清掃。毛がへたった部分や家具の跡も、スチームを当てればふっくらと甦る。



基本 3
毛羽立ちやほつれが目立ったら

ループがほつれたり、長い毛が出てきたら、ハサミを水平に当ててカット。切った跡は自然に目立たなくなる。



1.カーテン越しにやわらかな光が差し込む2階の子供部屋。2.カーペットの端切れで壁を装飾した中2階の寝室。3.玄関横の床に家族5人分の手形を押しした。手形の上の穴は傘立て。4.カーペットは滑りにくいので、子供が走っても安心。裸足でも足下から冷えることがない。5.ガレージから一段高いところにある庭からも居室にアプローチできる。

*Let's play
inside the house*



家中を遊び場に、
子供たちは伸び伸びと



平日の午後、蒼介君と柊佑君が幼稚園から戻ると、堀田家はとたんに賑やかに。休む間もなく走ったり、転げまわったりする2人を、小さな茜ちゃんも一生懸命追いかけます。「カーペットの上なら、転んでも大怪我をすることはありません。子供たちだけで遊ばせておいても安心です」と、かたわらで家事をこなす優子さんは話します。

おやつの中には床に座って、お菓子をカリカリ、ポリポリ。食べかすや飲み物をこぼすこともよくあるそうですが、「慌てずに処置をすれば大丈夫。多少染みが残っても、自然に遊び毛と一緒に抜けていきます」と、堀田さん。「お手入れの基本は、セーターや洋服と同じ。あまり神経質になることはないですよ」。

※お手入れの方法は、カーペットの材質などによって異なります。